

親子で週1回利用しています

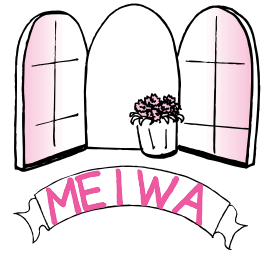
図書館入場者が40万人



左から鈴木さん、斎藤町長、加藤さん、角田さん親子

この日から、利用したいです」と話していました。年々蔵書数を増やしている図書館は、現在63,800冊を保有し、1日平均250人が利用しています。

町立図書館の入場者が平成8年7月の開館以来1、659日目に当たる5月10日、40万人を突破しました。40万目に入場した加藤英子さん（梅原）とその前後の角田美佳さん（矢島）、鈴木知子さん（新里）に斎藤町長から記念品が贈られました。斎藤町長は「読書は心を耕し、心に栄養を与えます。多くの皆さんに来館いただき、1冊でも多く読書してください」とあいさつ。また、子ども連れで訪れた加藤さんは「入館しやすいところなので、週に1回は利用しています。友達のお母さんたちと交流できるので、



まちのわだい

思いやりの心を育む

花いっぱい運動

町教育委員会では5月11日、花の苗約1、400株を16行政区の子ども会に配布し、花いっぱい運動を行いました。この運動は、人と人とのふれあい、思いやりの心を育むことを目標に毎年行われています。苗は、町花卉組合の協力を得て、マリィゴールド、センパトベゴニア、インパーチェンス、サルビアの4種類を配布。神社境内に花を植えた中学生は「部活の帰り、自分で植えた花を見て、きれいに咲いているとうれしくなります」と話していました。



神社境内に花の苗を植える子どもたち（矢島）

やさしさを持った人に育ってね

町の子育て支援センター



子育てについて熱心に聞き入る参加者

町の子育て支援センターでは5月15日、江原助役を講師に迎え、子育てに関する「お話し会」を同センターで開催しました。1歳から2歳までの親子を対象にしたふれあい保育のなかで行ったもので、94人の親子が参加しました。江原助役は「子どもたちに優しさをどう教えるかということをお話について、子育てに頑張ってください」と述べました。また、今年から参加したお母さんは「親同士の友達づくりや同年齢の子とも遊ばせるために利用しています」と話していました。